

多様な生き方に、
多彩な住まい方を。

さまざまな価値観や生き方、
ライフスタイルが変化するたび、
大和ハウスは新しい住まいの選択肢を
提案してきました。

お客様の理想を叶える注文住宅はもちろん、
厳選された間取りと設備を選んだり、
カスタマイズする家づくり、
さらには、注文住宅の品質を分譲住宅にまで。

すべての家が、
豊かな人生を紡ぐ場所であるために。
誰もが描いている想いを叶えるために。

多様な時代のニーズに応える、
多彩な住まい方を、これからも。

家は、生きる場所へ。
LiveStyle
Design

リブスタイルデザインの大和ハウス。



さまざまな住まいの選択肢から、みなさまの想いを叶えます。

フルオーダー
【注文住宅】



家づくりの専門家チーム
と一からつくりあげる、
あなただけのこだわり
を詰め込んだ理想の
家づくりを実現します。

大和ハウスのスマートデザイン
【セミオーダー住宅】



建築士の英知がバランス
よく採用された間取り
をベースに、こだわり
をプラスしてカスタ
マイズするセミオー
ダー型住宅。

大和ハウスのスマートセレクション
【規格住宅】



プロが厳選した人気の
間取りをパッケージ化。
価格と仕様が明快な
数々のプランから、自分
たちに合った住まい
をお選びいただけます。

Ready Made Housing.
【分譲住宅】



高いデザイン性や
快適性、さらに長期
保証まで。注文住宅の
高い品質を分譲住宅
で実現。



大和ハウス工業株式会社〈住宅事業本部〉
東京本社 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112 Tel 03-5214-2172
www.daiwahouse.co.jp



怖い倒壊・火災 地盤の液化化も

地震ではどのような災害が起き、その時にはどのような行動をしたらよいのか。首相官邸ではその指針をまとめている。地震は突然起こる。日頃からあらゆる想定を頭に入れ、素早く行動に移せるかが命を守るカギとなる。

地震による被害には、津波をはじめ、建物崩壊、火災の発生、土砂崩れ、液状化現象などがある。100年前の関東大震災では、炎を巻き込んだ竜巻上の空気の渦が発生し火災旋風となって急速かつ広範囲の火災延焼を引き起こした。阪神・淡路大震災では神戸市中心部で大規模な火災が発生、住宅・ビルの崩壊による道路の遮断で交通障害が生じた。東日本大震災では東北地方から関東地方にかけての太平洋沿岸を巨大津波が襲ったほか、東京湾岸地域では液状化現象により大きな被害をもたらした。

一般的に大都市で地震が起きると、古いビルや家屋そのものが崩れ、人が生き埋めになったり、外壁や窓ガラスが割れて落下する。通話の集中や通信設備の被災などで電話やインターネットが使用できなくなる。歩行者や自動車が集中し大渋滞で帰宅や避難が困難になる。さまざまな理由で線路が寸断され、何日も電車が不通となる。停電、都市ガスの停止、断水など生活イ

巨大地震に備えあらゆる想定を

地震発生時の安全確保は状況に応じた初動が重要

地震

に対する
10の備え

身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう

- けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



けがの防止対策をしておこう

- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- 散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。



家屋や塀の強度を確認をしておこう

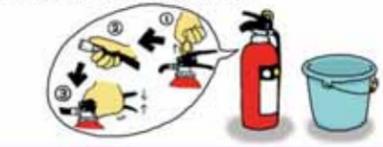
- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。



初動対応の備え

消火の備えをしておこう

火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き（濡れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする）をしておく。



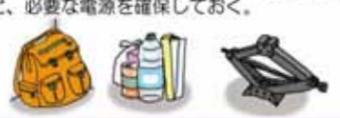
火災発生時の早期発見と防止対策をしておこう

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- 電気に起因する火災の発生を抑制するため、感震ブレーカー（分電盤型）などの防災機器を設置しておく。



非常用品を備えておこう

- 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- 冬の寒さなど、季節を考慮した用品を備えておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。
- スマートフォンの予備バッテリー（PSEマーク付）など、必要な電源を確保しておく。



確かな行動の備え

家族で話し合っておこう

- 地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 台風等の風水害が同時期に発生した場合を想定しておく。
- 普段のつき合いを大切にするなど、隣り近所との協力体制を話し合っておく。



地域の危険性を把握をしておこう

- 自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険性を確認しておく。
- 自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。



防災知識を身につけておこう

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。
- 大きな地震の後に同程度の地震が発生する可能性があることを理解しておく。



防災行動力を高めておこう

日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。



※出典) 東京消防庁



インフラが停止する。いざという時にはどう行動すべきか。地震の揺れを感じた時、あるいは緊急地震速報を見聞きした場合、慌てずにはまず身の安全を確保すること。当然な事と思っても身体はすぐに反応しないものだ。家庭で屋内にいる時は、慌てて外に飛び出さず、扉を開けて避難路を確保し、家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れた丈夫な机の下などに隠れること。その場で火を消せるときは始末し、火元から離れている時は無理に消しに行かない。

屋外にいる時、例えば人が大勢いる大規模店舗などの集客施設にいる時などは、慌てずに施設の係員や従業員の指示に従い、指示がない場合は吊り下がっている照明などの下から退避し、頭を保護し揺れに備えて安全な姿勢をとる。エレベーターに乗っている時は、最寄りの階で停止させてすぐに降りる。道を歩いている時は、ブロッカーの倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、そばから離れる。ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して建物から離れる。山や崖付近にいる時は、落石や崖崩れに注意し、できるだけその場から離れる。鉄道やバスに乗っている時は、つり革や手すりにしっかりつかまり、自動車を運転中は、慌てて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす。駅周辺等大混雑している場所では、人が将棋倒しになるので駅周辺には近づかないようにする。

とにかく、身の安全を確保した上でむやみに移動を開始しないことが基本だ。安全な場所にとどまることを第一に考えたい。

HEBEL HAUS

ALL for LONGLIFE

自分らしい生き方に、
住まいを合わせていく時代へ。

価値観やライフスタイルが多様化するいま、
1つの住まいを家族代々住み続ける人もいれば、
マンションから賃貸住宅へ、
戸建住宅からマンションへ、
ライフステージや目的に応じて住み替える人も
いらっしゃいます。
住まいに縛られることなく自分らしい生き方に、
住まいを合わせていく。
そんな自由で豊かな暮らしを実現するために、
わたしたちは、家族のこと、
資産のこと、社会のこと
あらゆることを考え抜き、最適な答を
ご提案いたします。



各種資料のご請求・お問い合わせ先
下記電話番号またはメールアドレス宛にお問い合わせください。
TEL: **03-6899-3010** (土日祝除く9:00~18:00)
FAX: **03-6899-3400**
✉ j-koho@om.asahi-kasei.co.jp

〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング7階
旭化成ホームズ株式会社 広報室

※当社個人情報お取り扱いに関しては下記サイトを
ご覧ください。
https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/privacy.html?link_id=AH_footer28

住宅が欲しい

ロングライフ思想を掲げて半世紀。
良質で長持ちする注文住宅や既存住宅をご提供いたします。



注文住宅

ヘーベルハウス

都市型住宅の先駆者。理想のマイホームを
フルオーダーメイドで建てるができます。



既存住宅

ストックヘーベルハウス

暮らしの安心と快適を実現する
もうひとつの住まいの選択肢です。

部屋を借りたい

高い居住性能と充実した設備を兼ね備えた賃貸物件をご提供。
暮らしにぴったりなお部屋がきっと見つかります。



お部屋探し

ヘーベルメゾン

様々なライフスタイルにあわせた物件を
取り揃えています。



お部屋探し(シニア向け)

ヘーベルVillage^{ヴィレッジ}

介護施設ではなく、自立して暮らせる
シニア向けの賃貸住宅をお探し頂けます。

土地を活用したい

相続税対策や資産形成など、目的にあわせて
最適な土地活用プランをご提案させていただきます。



賃貸住宅

ヘーベルメゾン

高い防災力をもつ安全安心な
賃貸住宅経営。
狭小の住宅地から大規模な
敷地まで対応可能です。



賃貸住宅 (シニア向け)

ヘーベルVillage^{ヴィレッジ}

超高齢社会のニーズを捉えた
賃貸住宅経営。
土地活用をととして社会に
貢献できます。



中高層ビルディング

ヘーベルビルズ

最大8階建ての中高層
ビルディングの賃貸経営。
賃貸マンション・店舗・
オフィスなどへ展開可能です。

地震は突然起こる。当然、愛するペットにも様々な危険が降りかかってくる。災害時に自分自身、家族、そしてペットを守るために常日頃からできることを考えておく必要がある。

環境省の調査によると、マグニチュード7・2の地震が直撃した1995年の阪神・淡路大震災では、人命とともに犬約4300頭、猫約5000頭が犠牲となった。2011年、マグニチュード9・0のとてつもない揺れに襲われた東日本大震災でも多くの人命とともに多数のペットの命も奪われたという。その数は青森県で少なくとも31頭、岩手県で602頭、福島県では2500頭と報告があるものの、数の詳細は不明だ。猫は犬のように登録制度がないため、いずれの自治体においても震災以前の飼養状況や震災による被災状況はほとんどわかっていない。

しつけや健康管理と共に 所在不明にしない対策を

「いざその時」に備え、飼い主はペットのためにどのような対策を考えるべきなのか。環境省は一般飼い主向けに、平常時に飼い主が行うべき対策として「人とペットの災害対策ガイドライン」を公開している。

それによると(一部抜粋)、
 ①住まいや飼養場所の防災対策——家具やケージの固定、転倒・落下防止をはじめ、屋外飼養の場合は、外扉やガラス窓の近くを避ける等の飼養場所の安全確認、またケージなどペットの避難場所(隠れ場所)の確保。

②ペットのしつけと健康管理——犬の場合「待て」「おいで」「お座り」「伏せ」などの基本的なしつけや、ケージなどの中に入ることを嫌がらないよう日頃から慣らしておく(猫も同様、以下同)、不必要に吠えないようしつける、人や他の動物を怖がらないように慣らしておく(同)、決められた場所で排泄ができる

命は助かったものの負傷してしまったり、避難する際に飼い主と離ればなれとなり、放浪状態となったペットが多数いたこともわかっている。
 また、福島県では原子力発電所の事故により警戒区域が設定され、住民はペットを自宅に留置したり、屋外に放つたり、係留したまま避難せざるをえない状況だったそう

愛するペットにも必要な災害対策

ペット用の備蓄品と、持ち出す際の優先順位の例

優先順位 1 動物の健康や命に係わるもの

- 療法食、薬
- ペットフード、水
(少なくとも5日分 [できれば7日以上])
- キャリーバッグやケージ
(猫や小動物には避難時に欠かせないアイテム)
- 予備の首輪、リード (伸びないもの)
- ペットシート
- 排泄物の処理用具
- トイレ用品
(猫の場合は使い慣れた猫砂、または使用済猫砂の一部)
- 食器

優先順位 2 情報

- 飼い主の連絡先と、ペットに関する飼い主以外の緊急連絡先・預け先などの情報
- ペットの写真
(印刷物とともに携帯電話などに画像を保存することも有効)
- ワクチン接種状況、既往症、投薬中の薬情報、検査結果、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報

優先順位 3 ペット用品

- タオル、ブラシ
- ウェットタオルや清浄綿
(目や耳の掃除など多用途に利用可能)
- ビニール袋
(排泄物の処理など多用途に利用可能)
- お気に入りのおもちゃなど匂いがついた用品
- 洗濯ネットなど
(猫の場合は屋外診療・保護の際に有用)
- ガムテープやマジック
(ケージの補修、段ボールを用いたハウス作り、動物情報の掲示など多用途に使用可能)



※出展) 環境省「人とペットの災害対策平常時に飼い主が行うべき対策ガイドライン」より抜粋



るようにする
 (同)、義務である狂犬病予防接種に加え各種ワクチンを接種する
 (同)、犬フィラリアやノミ・ダニなどの寄生虫を予防・駆除する、シヤンプーやトリミングにより身体を清潔に保つ、不妊去勢措置を行う(同)など。猫の場合はできる限り室内で飼養する。
 ③ペットが行方不明にならないための対策——首輪と迷子札、マイクロチップ等で所有者を明示(犬・猫とも)。
 ④ペット用の避難用品や備蓄品の確保——療法食や、薬、ペットフード、水、キャリーバッグやケージ、予備の首輪、リード、ペットシート、排泄物の処理用具、トイレ用品、食器、ペット用品(タオル、ブラシ、お気に入りおもちゃ、保護用の洗濯ネット)、飼い主の連絡先とペットに関する飼い主以外の緊急連絡先・預け先などの情報。
 ⑤情報収集と避難訓練——ハザードマップでの危険箇所、ペットの受け入れ可能な指定避難所の把握。受け入れ可能な指定避難所でのペットの反応や行動の把握、同所での動物が苦手な人への配慮や飼養環境の確認。
 ⑥家族や地域住民との連携確保——、などをポイントとして提示しており、「ペットを飼う権利と果たすべき義務を常に意識して、飼い主としての責任を果たす心構えを持つことが重要」としている。

MISAWA

防災・減災住宅は、ミサワホーム。

ちょっとした揺れなのに、過剰に反応してしまう。豪雨のニュースに、家や家族が心配になる。

ミサワホームは、災害大国・日本のご家族に、ひとつ上の安全・安心をご提案します。

平常時から災害発生時、発生後まで3段階の防災・減災ソリューション「MISAWA-LCP」。

ふだん快適に暮らせる住まいが、そのとき、避難所としての役割を果たしてくれます。

- 1st SAFETY SOLUTIONS 備えるデザイン
- 2nd SAFETY SOLUTIONS 守るデザイン
- 3rd SAFETY SOLUTIONS 支えるデザイン

MISAWA-LCP

備える ▶ 守る ▶ 支える [防災・減災ソリューション]

MISAWA
Life
Continuity
Performance



先進の防災・減災ソリューションを詳しくご紹介した「MISAWA-LCP」カタログを差し上げます。

HP ホームページ www.misawa.co.jp/catalog/ ハガキ(住所・氏名・年齢・電話番号を明記)
〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 私書箱6111号 ミサワホーム株式会社「LCP」K係

※当社では、お客様の個人情報を、建築・リフォーム工事、不動産取引に関する情報・サービス案内のお届け、訪問、各種プランのご提案、アンケート調査等の実施目的で利用いたします。その他詳細は、www.misawa.co.jp/privacyをご覧ください。

詳しくはWEBで

住まいを通じて生涯のおつきあい

新しい暮らしをデザインします

ミサワホーム

価値と快適をデザインします

ミサワリフォーム

賃貸経営から介護・福祉事業

複合土地活用まで

ミサワ資産活用

災害に強く安全で快適な住まい提供



旭化成ホームズ フレックスアスガルド

都市型住宅を得意とする旭化成ホームズは、2022年に都市郊外の大規模邸宅を新たなターゲットとした「ラティウスRDシリーズ」を発売、その後も同シリーズを継続的に市場に投入して、戸建ての大規模・高付加価値化を推進してきた。

今年1月に発売した重量鉄骨3階建て新商品「フレックスアスガルド」は、アッパー層に向けた大型住宅商品。断熱等級6を標準仕様としており、新外壁デザイン・色を設定、重量・システムラーメン構造に新たに天井高バリエーションを追加することで、都市における理想の暮らしを追求している。商品名のアスガルドは、北欧神話の神々が住まう孤高の城塞都市を表す固有名詞をモチーフに、暮らしを豊かにする叡智を結集した都市邸宅、という新たな意味を持たせた。昨年5月に発売した「ラティウスRD 余白の在る家」で提案した、適度な視線の抜け観を生み出すシェルフウォールに対応する。1、2階の天井高に2560mmのハイシュートベランダを組み合わせることで、広がりのある開放的なリビング空間を実現する。

新外壁デザインとして、柱状節理をモチーフにしたランダム縦目地のデザインを導入。硬く、希少な鉱物であるレニウム鋼をモチーフにした新色を追加、従来の黒系色（玄武）より明度が低くマットな質感を演出する。新外壁デザインと新色を組み合わせることで、壮麗な縦のラインが邸宅に伸びやかな印象を与え、重厚な黒が力強い存在感を醸し出す。さらに水平ラインを強調するH型鋼をモチーフとした新外装のストラクチャーラックをプラスすることで広がりやすさを演出する。

断熱等級6標準、新外壁で都市部の理想の暮らし追求

天井やダウンフロアなどを組み合わせること、多彩な天井高を実現する。ハイシューリングは全館空調システムを天井に仕込みやすいというメリットもあり、特に都市部では2階リビングを設定するケースが多く、重量鉄骨による大開口とフレーム枠をスリム化した新サッシ、フルフラットベランダを組み合わせることで、広がりのある開放的なリビング空間を実現する。

新外壁デザインとして、柱状節理をモチーフにしたランダム縦目地のデザインを導入。硬く、希少な鉱物であるレニウム鋼をモチーフにした新色を追加、従来の黒系色（玄武）より明度が低くマットな質感を演出する。新外壁デザインと新色を組み合わせることで、壮麗な縦のラインが邸宅に伸びやかな印象を与え、重厚な黒が力強い存在感を醸し出す。さらに水平ラインを強調するH型鋼をモチーフとした新外装のストラクチャーラックをプラスすることで広がりやすさを演出する。



高い耐震性と快適さ両立 平屋住宅の対応力も強み

住友林業のビッグフレーム（BF）構法の戸建住宅「ビッグフレームレジリエンス」は、開発した日本初の梁勝ちラーメン構造。主要耐震性の高い構造に、さまざまな災害対応設備を搭載することで、防災力を高めた住まい。日本の気候風土に最適な木造住宅を独自のテクノロジーで革新することで、格段に強度を高め、非常時の安心も平常時の快適性も実現した木の家となっている。

BF構法は、同社が耐震性の高い構造に、さまざまな災害対応設備を搭載することで、防災力を高めた住まい。日本の気候風土に最適な木造住宅を独自のテクノロジーで革新することで、格段に強度を高め、非常時の安心も平常時の快適性も実現した木の家となっている。

BF構法は、同社が耐震性の高い構造に、さまざまな災害対応設備を搭載することで、防災力を高めた住まい。日本の気候風土に最適な木造住宅を独自のテクノロジーで革新することで、格段に強度を高め、非常時の安心も平常時の快適性も実現した木の家となっている。

「アップ構造」により、上下階間や各部屋間の火災拡大を抑制する。一般の木造住宅に比べて火災に強く、火災保険料が割安で済む。大型化する最近の台風にも耐える性能も、実大モデルで実証済みだ。

ライフラインが遮断された非常時にも、エネルギーの自給自足や充実した備蓄スペースなど、家族の命を守るシェルターとして、その防災力を発揮。復旧までの一定期間生活を続けられる機能を備えている。具体的には、太陽光発電システムや蓄電池など、災害時に必要な電力を確保。平時は毎日の必要な電気を賄うことが可能だ。

近年、平屋を検討する方が増えてきており、同じ延床面積なら屋根の面積が2階建てよりも広く取れるため、太陽光パネルの設置容量も増やしやすいため、初期投資はかかるが、日々の光熱費は節約できる。さらに、断水時の生活用水のための雨水タンク、大量の備蓄品を収納可能な小屋裏収納も設定している。

住友林業 ビッグフレームレジリエンス



木造で、CO₂は減らせる。^{※1}

あなたは知っていますか？

じつは、建物をつくるとき、鉄やコンクリートより、^{※2}
木で建てるほうが、CO₂排出量は少ないのです。

そして、木はCO₂をぐんぐん吸収して育ったのち、
木材になっても炭素をストックしつづけてくれます。

木の建物は、いわば、炭素の貯蔵庫。^{※3}

これまで250,000棟以上の木造建築をつくってきた

三井ホームの累計炭素固定量は、

およそ383万トンと推定されます。^{※4}

これは、杉の木に換算すると758万本、^{※5}

東京ドーム2,162個分の森林面積が

貯蔵する炭素量にあたります。

私たちは、工法を構造から進化させることで、

これまで木で建てられなかった大規模建築物まで、

どんどん木造に変えていきます。

これからは、木の施設や住まいを選ぶことも、

社会貢献のひとつになっていく。

木造建築の可能性を広げることで、

脱炭素に貢献していく、三井ホームです。

木で建てれば、街は森になる。 三井ホームの木造建築

※1 ①木造建築は、鉄骨造やRC造と比べ建築時のCO₂排出量が少ないこと。
②木材は、炭素を固形として長期間貯蔵することで、大気中のCO₂濃度上昇の抑制に役立つこと。③木材は、高断熱・高气密性により住んでいる間の冷暖房の消費エネルギーを抑えることができること。以上の理由から、建築物における木材の利用を促進することによって、CO₂排出量を抑制できることを表す。※2 自社MOOXION INAGIを鉄筋コンクリート造で建設した場合との比較。※3 三井ホームグループによる実績。(2023年3月末時点) ※4 国土交通省「令和4年度 住宅経済関係データ」(https://www.mlit.go.jp/statistics/details/A-jutaku-2_ik_000002.html) 日本の滅失住宅の平均築後年数38.2年より、1985年3月31日以前に引渡し済の物件はすべて滅失しているものと仮定して計算に合わせ、1985年4月1日以降に引渡し済の物件はすべて現存しているものと仮定して計算。(2023年3月末時点) ⑤ 林野庁ホームページ「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」に基づく試算。(https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/meruka.html (2023年3月末時点) ※5 林野庁ホームページ「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」に基づく試算および炭素貯蔵量計算シートによる換算。

&EARTH with WOOD

お問い合わせは
☎ 0120-94-4331 10:00～17:00
(土・日・祝日を除く)
三井ホーム株式会社 本社 〒163-0453 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル53階
木造建築による炭素固定量を、WEBサイトで公開中。



三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

災害に強く安全で快適な住まい提供



積水ハウスグリーンファースト・ゼロ

積水ハウスが推進する『グリーンファースト・ゼロ』とは、住まいそのものの強靱さに加え、同社グループの災害時サポート体制でレジリエンス性を高めた防災ゼロエネルギーハウスを指す。同社では、この考え方に基づく防災性に優れたゼロエネ住宅の普及により、気候変動に伴う激甚災害への備えと地球温暖化防止に貢献する住まいづくりを推進し、ESG経営のリーダーとしての強靱さを目指していく。

同社の防災ゼロエネルギーハウスとは、地震や台風など自然災害に対して、まず建物自体が耐えられる頑丈さを備え、かつ被災後も生活空間、水・食料・エネルギーを確保でき、生活が続けられる。また、数日経っても、平常に近い暮らしが可能だ。災害発生時には、建物自体のレジリエンスにより、まずはオーナーの安全を確保。オフィシャル別データ管理システム「災害訪問アプリ」や物流ネットワークを駆使し、安否や被災の状況を把握。その上で、全国の工場を地域復旧支援の拠点として、居住者の暮らしを復旧させるための体制を整える。

東日本大震災では迅速に対策本部を設置、発生3時間後には支援物資の輸送を開始。また、19年の千葉県南部を襲った台風15号では発生から3日程度で被災エリアの全オーナー（建築主）宅の被害状況の確認と被災した300棟の初期対応を完了させた。

同社は、04年に蓄電池を初めて標準搭載し、災害時の自立生活を目指した「省エネ・防災住宅」を発売。以降、住まいのレジリエンス強化に取り組み、グリーンファースト・ゼロでもこれを深化させながら推進している。

ゼロエネハウスで災害備え 発災時グループ全体で支援

数日経っても、平常に近い暮らしが可能だ。災害発生時には、建物自体のレジリエンスにより、まずはオーナーの安全を確保。オフィシャル別データ管理システム「災害訪問アプリ」や物流ネットワークを駆使し、安否や被災の状況を把握。その上で、全国の工場を地域復旧支援の拠点として、居住者の暮らしを復旧させるための体制を整える。

東日本大震災では迅速に対策本部を設置、発生3時間後には支援物資の輸送を開始。また、19年の千葉県南部を襲った台風15号では発生から3日程度で被災エリアの全オーナー（建築主）宅の被害状況の確認と被災した300棟の初期対応を完了させた。

同社は、04年に蓄電池を初めて標準搭載し、災害時の自立生活を目指した「省エネ・防災住宅」を発売。以降、住まいのレジリエンス強化に取り組み、グリーンファースト・ゼロでもこれを深化させながら推進している。

大和ハウス工業 災害に備える家

大和ハウス工業が防災を採用する3点。最大の特徴である「全天候型4電池連携システム」は、従来の「全天候型3電池連携システム」の太陽光発電システムとエネファーム、家庭用リチウムイオン蓄電池に、電気自動車とも連携するV2H（Vehicle to Home）蓄電システムを追加した「防災防犯ガラ」の電気が約11日間使用可能だ。

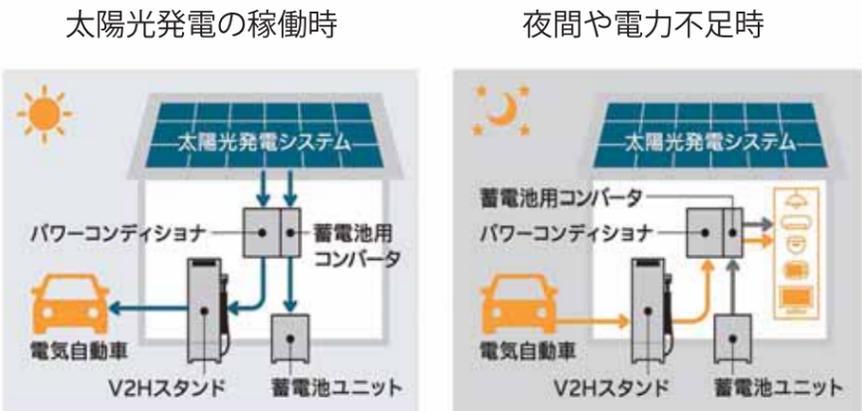
太陽光発電システムで発電した電気のうち、余剰電力をリチウムイオン蓄電池と大容量の電力を蓄えられる電気自動車に同時に充電。蓄えられた電気は、住宅内で使用できるほか、電気自動車にも使えるため、クリーンな電気を最大限に有効活用することが可能だ。

雨天時でも日常と同等の電気が約11日間使用可能だ。

「全天候型4電池連携システム」の搭載②新システム、家庭用リチウムイオン蓄電池に、電気自動車とも連携するV2H（Vehicle to Home）蓄電システムを追加した「防災防犯ガラ」の電気が約11日間使用可能だ。

太陽光発電システムで発電した電気のうち、余剰電力をリチウムイオン蓄電池と大容量の電力を蓄えられる電気自動車に同時に充電。蓄えられた電気は、住宅内で使用できるほか、電気自動車にも使えるため、クリーンな電気を最大限に有効活用することが可能だ。

雨天時でも日常と同等の電気が約11日間使用可能だ。



4電池連携システムを搭載 V2Hで停電時、より安心に

耐震性能については、独自開発した耐力壁「キュレック」が大地震発生時の内外装の損傷を軽減する。キュレックの構造体に組み込まれた2つの「Z形デブイス」が揺れに合わせて上下にシなやかに動くことで、地震エネルギーを吸収する。「キュレック」を採用した「ジューヴォスプラス」仕様を装備すると、同社の従来商品よりも建物変形量を最大2分の1に抑えることも可能になる。

「防災瓦」「防災防犯ガラス」は飛来物が衝突した際の破損を軽減する。「防災瓦」は強靱性のある割れにくい材質を採用。衝撃を吸収するとともに、一般的な陶磁器平瓦と比べ重量が2分の1以下と軽量。飛来物の衝撃に強いだけでなく、地震の揺れも軽減する。「防災防犯ガラス」は2枚の板ガラスで従来の2倍に当たる厚さの合成樹脂を挟み、飛来物の衝撃に強い耐貫通性を発揮する。

Good Neighbor Wood

森と人は、良き隣人になろう。

もっと高く、もっと速く。

何と競っていたのだろうか。

世界が成長することは、二酸化炭素を出すことでした。

ここから変わる。

木から離れた人間は、もう一度木に戻る。

二酸化炭素を減らすには、木の力が本当に必要だから。

森と良き隣人になろう。

木の力と人の力で、互いに長く生きてみよう。

それは今あなたが思う幸せに、

案外近いのではないだろうか。

木と生きる幸福

 住友林業



積水ハウスは、 「長く住み続けたい家」へ

これからの時代、
本当に必要なものってなんだろう。

そんな思いから、安全や環境に配慮した
「長く住める家」を供給してきた積水ハウスでは、
新たなデザイン思想「life knit design (ライフ ニット デザイン)」に
基づく家づくりを進めています。

何が好きか、何に惹かれるか、何を心地よいと感じるか。
そんな一人ひとりの“感性”を住まいへと編み込み、
暮らすほどに愛着が増していく「長く住み続けたい家」。

季節の移ろいを感じながら暮らせる住まいは、
人生に豊かさを与えてくれる
感性の器のような場所にもなりうる。

そう信じる私たちは、この新しい家づくりを通して、
グローバルビジョン「[わが家]を世界一幸せな場所にする」を
実現していきます。


life knit design

<https://www.sekisuihouse.co.jp/kodate/lkd>

